

松阪市地域包括ケア推進のための

第1回 多職種勉強会を開催!!

高齢化が進展する中、市民の方々が住み慣れた地域で安心して暮らし続けていくための「地域包括ケア」を推進しようと、平成26年7月に松阪市で第1回地域包括ケア推進会議を立ち上げました。

なかでも介護と医療の連携強化を最重要課題として、介護・医療・福祉など様々な分野の専門職のみなさんと協働を図るための多職種勉強会を11月20日に開催しましたところ、総勢112名の参加があり、在宅介護や医療に関する思いを語っていただき、大いに盛り上がりました。



「第1回多職種勉強会」に参加されたみなさん



医療について発表された4名の医師の方々

～松阪地域の医療現場から学ぶ～

第1部の研修会では、清水敦哉先生（済生会松阪総合病院）、藤井秀子先生（藤井整形外科胃腸科医院）、小林明彦先生（小林内科胃腸科医院）、志田幸雄先生（桜木記念病院）の4名の先生方から、急性期医療や在宅医療の現状と展望について熱意あるご発言をいただきました。

第2部は、島田松阪保健所長によるコーディネートで、「できる限り住み慣れた地域で、必要な医療・介護を受けるための地域包括ケアを松阪地域で実現するためには？」について話しあいました。12のテーブルごとに参加者から現場の思いがたくさんあふれて、時間が足りないくらいでした。

顔の見える関係づくりの第一歩になったと実感することができたと同時に、このような勉強会とグループワークで交流を継続し、介護と医療の連携を深めていきたいと思いました。

次回の多職種勉強会「リハビリテーション専門職 活用のすすめ!!」

とき：2月19日（木）午後7時～、ところ：三重県松阪庁舎（高町）

参加希望の方は、市高齢者支援課へ2月10日までにお申し込みください。



★裏面もご覧ください★

第2部：グループワーク



高齢化、核家族、老々介護などで家族の介護力がとても低くなっている。心配だ。



早期の退院が増えてい
る。在宅医療
や在宅介護
をスムーズ
に利用でき
体制を整え
たい。



普段聞けない、医師の方々の生のお話を伺えて良かった。医療の現状が伝わってきた。



在宅での看取りが増えてくる。最後をどう迎えるのか、家族が死生観を考える機会を作っていく事も大事だろう。

さまざまな職種の方と話し合えて有意義だった。皆さん熱い思いを持っていることを知り、心強くなった。



【アンケート結果：参加者112名中95名より回収】

研修会の内容について		グループワークについて	
とてもよかった	53 (56.0%)	とてもよかった	50 (53.0%)
よかった	29 (31.0%)	よかった	29 (31.0%)
ふつう	3 (0.3%)	ふつう	4 (0.4%)
未記入	10 (11.0%)	未記入	12 (13.0%)

【研修や交流の希望：一部抜粋】

グループワークをもっとしたい。このような機会を定期的にしてほしい。
具体的な事例でグループワークを希望。多職種の意見が勉強になる。
回数を重ねて、もっといろいろな方と話し合いたい。

【地域包括ケアにむけての意見：一部抜粋】

勉強会を希望。市民の方々への啓発が必要。家族の介護力をつけることが大事。

★松阪地域の「地域包括ケア」推進のため、これからもご理解・ご協力をお願いいたします。

事務局：松阪市健康ほけん部高齢者支援課 電話 53-4427、53-4099